

色彩表現に優れたタオルケット

— タオルデザイン企画手法開発研究 (S45～) —

愛媛県産業技術研究所 繊維産業技術センター 主任研究員 石丸 祥司

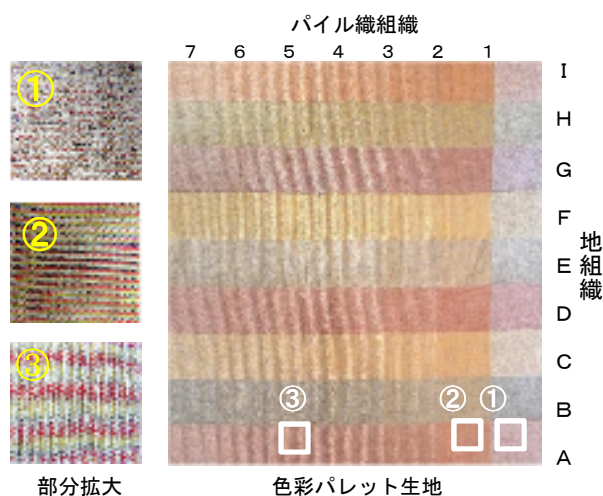
白色のピル糸を使用して明度表現するジャカード柄と、白色の地たて糸と3色のよこ糸を使用して色相表現するジャカード柄を組み合わせる製織技術により、色彩表現に優れたタオルケットを試作しました。

色彩パレット生地作成

箄の引き込みが|G' G P|のタオルケットにおいて、地組織を工夫することにより、ピル部分と地部分の両方にジャカード柄を展開することが可能となりました。

9種類の地組織(A～I)による色相表現(3色の色系)とその色彩に7種類のピル織組織(1～7)を用いた明度表現(ピルは白色)を組み合わせ、合計72種類の色彩パレット生地(写真右)を作成しました。

パレット生地作成により、効率のよいデザイン企画と製織ができました。



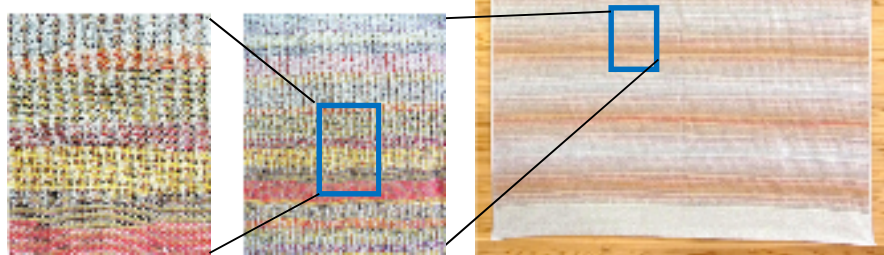
部分拡大

色彩パレット生地

タオルケット製品の試作

ピル部分の柄は、滑らかな明度の推移を表現するため、グラデーションで循環する構成としました。

地部分のジャカード柄は、なだらかな波柄で、色彩の変化が分かりやすい構成にしました。



ピル柄と地柄の併用による色彩効果

試作タオルケット

本研究により、ピル部分で明度段階を表現し、地部分で色相を表現する織組織の開発を行うことで、新しい製織技術・デザイン手法を確立しました。

また、ピル部分に色系を使用し、この技術を応用することにより、従来にない豊かな色彩を有するタオル商品開発が可能となりました。